

新 評 論

2015

7

No.258

発行所 © 新 評 論 2015年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail : shm@shinhyoron.co.jp
振 替 00160-1-113487 価格税抜



25人が赤裸々に語るガン闘病体験。人間のもつ弱さと強さ、絶望と希望、苦悩と歓喜が胸を打つ感動のドキュメンタリー。

ガンと向き合う力 25人のデンマーク人がガン体験を語る シリーズ《デンマークの悲しみと喪失》第3弾

ピアギト・マスン+ピーダ・オーレセン編
写真：ヘンレク・ビエアグラウ

石黒 暢 訳

◆ジャンル：社会／ガン闘病記・医療エッセイ

本書は、ガンを経験し、克服したデンマーク人二十五人が自らの体験を綴ったものであり、デンマークで出版されて大反響を呼んだ《悲しみと喪失》シリーズからの邦訳第三弾である。

四歳で白血病を発症した女の子、結婚して妊娠を待ち望んでいるときに乳ガンを宣告された女性、公演ツアーの最中に精果ガンを告げられた俳優、七歳の娘に自分の子宮頸ガンを告白しなければならなかった母親、二二歳で卵巣ガンにかかって、子どもを産めなくなった女性……著者二五人の年齢も置かれている立場も様々である。デンマーク代表として活躍したサッカー選手エッベ・サンドも著者の一人に名を連ねており、話題を呼んだ。本書の価値は、デンマーク人が生活者の目線から、自分の体験を極めて率直に、内面にまで踏み込んで語るところにある。ガンの診断を受け、壮絶な治療を経験した著者たちの言葉は重く、説得力がある。その語りのなかでは、人間のもつ強さだけでなく、弱さも露呈する。自分の生命がこの先どうなるのか分からないという

不安と絶望。何としてでも健康と幸せを取り戻したいという強い意志。そして、ガンを経験することによって、あたりまえの日常に幸せを感じるようになったという言葉に希望が見えてくる。

高福祉国家として知られるデンマークの充実した社会保障制度については、日本でもよく知られるようになってきたが、その社会に暮らす人々がどのような思いを抱えてどのように生きているかについては、あまり伝えられていない。良い面ばかりが取り上げられがちな北欧の国デンマークに生きる人々の心情を、悲しみや苦しみも含めてありのままに伝える本書が、日本における北欧理解の深化に役立てばと思う。(いしづか のぶ 大阪大学言語文化研究科准教授)

ISBN978-4-7948-1013-7 7月上旬刊
A5並製 予二二二頁 予二二〇〇円

既刊シリーズ
高齢者の孤独
(25人の高齢者が孤独について語る)
B・マスン+P・オーレセン編／石黒暢訳
認知症を支える家族力
(22人のケアマネジャーが家族の立場から語る)
P・オーレセン+B・マスン+E・ボーストロープ編
石黒暢訳

好評シリーズ

一八〇〇円

編者 Birgit MADSEN (1954～) 長年教員を勤めたのち、2001年からフリーの編集者に。子どもや家族に関する本を多数手がける。Peter OLESEN (1946～) ジャーナリスト・作家。本シリーズのほかに、建築や庭園などに関する多数の著書がある。

喧伝される「アベノミクス+地方創生」「地方消滅」論をよそに、
農・食・モノづくりの領域で生じている新たな動きに目を凝らす。

地域産業の「現場」を行く

誇りと希望と勇気の30話

第8集「地方消滅」を超えて

関 満博

◆ジャンル:地域産業

二〇一四年、「地方消滅」論が登場し、人口減少・高齢化に悩む「地方」ばかりでなく全国に大きな衝撃を与えた。日本の多くの地方では、すでに八〇年代中頃から人口減少と高齢化が目立ち始め、特に二〇〇〇年代に入ってから加速化していた。近年は五年で一〇%前後の人口減少率を示している地域も少なくない。「地方消滅」論は、そのような人口減少の



和菓子と洋菓子の融合で新たな境地を開いた「たねや」と「クラブハリ工」(滋賀県近江八幡市)

行く末を深く痛感させるものであった。いまや、私たちは人口減少・高齢化をむしろ歴史的な流れとして受け止め、それを和らげながら、それでも「豊か」で「安心、安全」を実感できるあり方を模索していくことが求められている。それは、従来型の「経済成長至上主義」とは異なった道なのである。

また、二〇一四年に入ってから円安が

急速に進み、一部の輸出型大企業は空前の好業績に沸いているが、縮小する地方ではそれは全く別世界のこのように映っている。中山間地域では、身近な商店街の中で最後に残った食料品店までもが閉鎖され、クルマの運転が得意でない高齢者は食料調達にも事欠いている。TVに映し出される都会の喧騒と、地方の差し迫った状況が混在している。バブル経済崩壊から四半世紀が経ち、この間、アジアおよび中国の躍進、そして国内における急角度な高齢化、地方に

おける人口激減など、日本をめぐる基礎的条件は大きく変わってきたが、地方では雌伏の四半世紀の中で多くの興味深い取り組みが重ねられている。それは大幅に後退を余儀なくされたモノづくり系産業ばかりでなく、戦後高度経済成長長期の中で後景に置かれていた農林水産業関連とりわけ「食」の領域で著しい。また中山間地域においても、ここにきて興味深い新たな動きが生じ始めている。

今後、人口減少・高齢化はさらに進むであろうが、それでも私たちは「豊かで安心、安全」な地域社会を形成していくための取り組みを重ねていかななくてはならない。その際、地域社会の安定にとりわけ重要なものが、「地域産業」のあり方である。本書では、その新たな「兆し」というべきものを、地域産業の「現場」から報告していく。(せき・みつひろ)

ISBN978-4-7948-1012-0 7月刊

四六並製 予二四〇頁 予二四〇〇円

地域産業の「現場」を行く

誇りと希望と勇気の30話

刊 第1集 予二四〇〇円 第2集 予二四〇〇円 第3集 予二四〇〇円 第4集 予二四〇〇円 第5集 予二四〇〇円 第6集 予二四〇〇円

好評 6次産業化と中山間地域

関満博編

五五〇〇円

著者 1948年生まれ。明星大学経済学部教授、一橋大学名誉教授。博士(経済学)。東日本各地の震災復興・産業再生にアドバイザーとして携わる。本シリーズのほか、『東日本大震災と地域産業復興 I~IV』『鹿児島地域産業の未来』『震災復興と地域産業 1~6』(編著)など。

初版から30年
中国メディアが注目

富永孝子 著

『大連・空白の六百日』

本は生きています！

富永孝子



(上) 著者が大連広播電視台の取材を受ける筆者（2015年4月21日）

(下) 拙著を中国語に翻訳、中国のプロダクションに紹介している森英子さん（左）と

出版後、ほぼ全紙、雑誌、テレビに紹介され一〇刷を重ね、一三年後の改訂新版も二刷という思ってもみない反響に驚いた。ハーバード大学

「中国大連広播電視台（テレビ局）から、大連市解放七〇周年に当り、一九四五年前後の大連の歴史の真実を詳しく記録している富永孝子さんに会いたい、と連絡がありました」と森英子さんからの電話。大連育ちの彼女は残留日本人二世で、母の祖国日本に移住、独学で日本語を学んだ。拙著『大連・空白の六百日』を読み、中国では当時の真相は不明の

まま、この本を翻訳して知らせたい、と許可を求めてきた。彼女は拙著の概要と感想を、まず中国語で中国のプロダクションに紹介したところ、ぜひ全訳をとの要望が次々に寄せられた。アクセスしてきた大連テレビ局は、森さんに私との連絡を依頼してきた、という。拙著の初版は一九八六年。私はテレビの仕事しながら個人的に、かつて一四歳で遭

遇した日本の租借地大連での敗戦体験の真相を調べていた。ヤルタ密約に発した当時の大連は、ソ・米・中共（中国共産党）・国府（中国国民政府）の複雑な国際紛争の埒場。日・中・韓市民は恐怖と飢餓に翻弄された。命からがら帰国するまでの六百日間の凄絶な「戦後の戦い」の公的史料は日・中とも皆無。両国の個人史、証言を探し求め検証し、八年を費した。

や在米日系人、香港のメディアからも問い合わせが寄せられた。時を経て日・中の若い歴史研究者たちの検証にも役立った、という。そして三〇年後、中国メディアから取材を受けるとは。「本は生きています！」八三歳、パソコンなしの私の実感である。

●富永孝子の本

改訂新版 大連・空白の六百日
（戦後、そこで何が起ったか）
三三〇円



遺言なき自決

（大連最後の日本人市長・別宮秀夫）
三〇〇円

深海からの声

（Uボート234号と英米英海軍技術中佐）
二八〇〇円

フラナリー・オコナーの ジョージア

サラ・ゴードン／田中浩司訳

「20世紀最大の短編小説家を育んだ恵みの地」オコナーの故郷への旅を通して創作の原点に迫る！
四六並製 一二四頁 二四〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1011-3



ロマン主義文学と絵画

村田京子

「19世紀フランス『文学的画家』たちの挑戦」「絵画の比喩」をジェンダーの視点で分析する意欲作。
A5並製 一二四頁 二八〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-0998-8



世界遺産マスターが語る 高野山

尾上恵治

「自分の中の仏に出逢う山」 開創一二〇〇年記念出版。金剛峯寺前管長・松長有慶氏のインタビュー掲載。
四六並製 三五六頁 二二〇〇円

『毎日新聞(和歌山版)』紹介

ISBN978-4-7948-1004-5



戦争を指導した 七人の男たち

マルク・フェロー／小野 潮訳

「並行する歴史」「われわれの時代の問題によりよく対処するため」に。アナル学派の重鎮が日常史研究の経験を生かして従来の分析を一新、新たな大戦像を提示。
ISBN978-4-7948-0871-1 近刊
四六上製 予五二〇頁 予五〇〇〇円

著者 Marc FERRO 一九二四年生。

ロシア史、映画史を中心とし、広い題材を扱う著述を多くする。雑誌『アナル』の共同主宰者、社会科学高等研究院の研究指導者。

歌で革命に挑んだ男

岡崎雄児

「中国国家作曲者・聶耳と日本」仮題「没後80年記念出版」のちに中国国歌となる名曲をはじめ、数々の歌曲で民衆を鼓舞した天才作曲家の短い生涯と謎の死の真相に迫る。
ISBN978-4-7948-1009-0 近刊
四六並製 予二五六頁 予二八〇〇円

著者 一九四四年生まれ、神奈川県出身。

早稲田大学第一商学部卒業、日本国際貿易促進協会、中央経済学院大学経営学部教授などを経て、現在東北公益文科大学非常勤講師。

棄国ノススメ

増田幸弘

家族とともに「棄民生活」10年。新たな移民の時代を予感させる、ユニークな「日本脱出記」。
四六並製 二四八頁 二二〇〇円

『世界日報』書評

ISBN978-4-7948-0997-1



孤独死の看取り

ドクター・ファンタスティック・嶋守さやか

山谷 金ヶ崎：ここから浮かび上がる支援者達のありのままの姿と現状。脱力★ファンタスティック系 社会学シリーズ②
四六並製 二五六頁 二〇〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1003-8



のむな、危険！

北野 慶

「抗うつ薬・睡眠薬・安定剤・抗精神病薬の罠」向精神薬被害者が語る「心のくすり」の真相！
四六並製 二四〇頁 一八〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1000-7



好評刊
ISBN978-4-7948-1006-9

積極財政宣言

なぜ、アベノミクスでは豊かになれないのか

島倉原

ドイツとフランスの両国に於ける
戦後70年の経済復興の歴史を研究した
「積極財政」の意義
島倉原 著

「なぜ、アベノミクスでは豊かになれないのか」 気鋭のエコノミストによる日本経済復活への処方箋！
四六並製 二八〇頁 二五〇〇円

島倉原

積極財政宣言

近刊

ISBN978-4-7948-1010-6



「歴史から日本の未来が見える」
ジャーナリストの遺言！政界を踊った様々な流行語に見る政治の虚実。
四六並製 予四〇〇頁 予二八〇〇円

政治の言葉から読み解く
戦後70年
宇治敏彦

著者 Christopher Laval 「九五三年生まれ、パリ第10大学（ナンテール）大学社会学教授、ベネズエラ功利主義哲学の専門家、ネオリベラリズムが人間のあり方を支配してきた歴史について論じる多くの著書がある。」
四六並製 四三六頁 予三八〇〇円

クリスチャン・ラヴァル／菊地昌実訳
「ネオリベラリズムの根底」経済「に取り囲まれた社会」文化・政治・教育観はいかにして生成されてきたのか。その歴史の変遷を丹念に辿り、現代の病の核心に迫る。
ISBN978-4-7948-1007-6 近刊

経済人間

『AERA』他紹介
ISBN978-4-7948-0995-7



大学生活を破壊する根本要因を取り除け！生と知の奪還に向けた「万人のための自由で無償の大学」像。
四六上製 二四八頁 二〇〇〇円

学生に賃金を
栗原康

好評刊
ISBN978-4-7948-1005-2



「人とまちが紡ぐ未来」手塚治虫の願いを理念にした「アトム通貨」。その成功のカギと魅力の全てを紹介。
四六並製 一五六頁 一八〇〇円

アトム通貨で描く
コミュニティデザイン
アトム通貨実行委員会編

『河北新報』紹介
ISBN978-4-7948-1001-4



「一人の犠牲者も出さないために」ごく普通の町内会が取り組む「人命第一」の軽やかな実践。
四六並製 二二六頁 一八〇〇円

仙岩福佳町式 被災の処方箋
菅原康雄・三好垂矢子

好評刊
ISBN978-4-7948-0999-5



「大切なのは「正しい答え」ではない」「世界」と「私」と「私たち」をつなぎ直すもう一つの学びの実践へ。
四六並製 一六四頁 一八〇〇円

私たちの国際学の「学び」
奥田孝晴・椎野信雄編

好評刊
ISBN978-4-7948-1002-1



成長を続けるアジア市場への進出戦略を分析し、日本企業立地先としての魅力とリスクを解明。
A5上製 一八四頁 二二〇〇円

日本企業の
アジア・パシフィック戦略
鈴木洋太郎編

写真文化首都「写真の町」東川町 編／清水敏一・西原義弘 執筆／大塚友記憲 写真

『大雪山』——カムイミンタラ神々の遊ぶ庭を読む』

著名人支えた人びとに光

■評者 中館寛隆(編集者)

昨年、大雪山国立公園は指定から80周年を迎えた。北海道の中央部に位置し、総面積は約23万ヘクタールと日本一の広さを誇る国立公園だけに、関係する自治体も10市町に及ぶ。大雪山系の最高峰・旭岳を擁する上川管内東川町もそのひとつである。

本書は大雪山系がもつ魅力をあらためて全国に発信しようとして、同町が80周年記念出版としてまとめたもので、山とともに生きた人びとや、深い

『北海道新聞』(2015年4月12日付)「本の森」より

関わりをもつ人びとの興味深い物語を、歴史の中から掘り起こしている。

執筆にあたつたのは、「大雪山文献書誌」など大雪山系に関わる多くの著作をもつ岩見沢在住の山岳史家・清水敏一氏と、元新聞記者で同町町史編集専門員・西原義弘氏の2人。また、冒頭の口絵ページ

の写真は同町在住の写真家・大塚友記憲氏が担当している。

本書では人びとの物語を、「雪」「由来」「登る」「描く」

の大雪山系招へいに功績のあった塩谷忠など、歴史に埋もれようとしている人びとにも、大きくページを割いているところだ。

「写真の町」を宣言して話題になった同町だが、いま大雪山系に関する書籍や資料の収集にも力を入れているという。本書の出版もそうした事業の一環として行われた。ほかに例のない、文化を軸とした町おこしを進める同町の姿勢が目される。

北海道最高峰には知られざる幾多のドラマがあった!「写真の町」東川町が全国に向けて発信。

四六上製 三六〇頁 二七〇〇円

『北海道新聞』他書評
ISBN978-4-7948-0996-4



本を売る

小さくて便利な
「MY書店」を目指して

ブックスキューブリックは福岡市内に2つの店舗を持ち、1店舗目内々やき通り店は来年度で開店5年を迎えます。どちらとも15・20坪の空間に、雑誌から絵本まで全てのジャンルの本を置いています。営業中は基本的に1人で業務、接客を行うため、棚の本は全て把握する必要があります。私は今年で入社3年目となりますが、棚のゆるやかな変化をずっと観察してきました。

箱崎店では新しく常連になって下さったお客様の注文でSF系の本が増え、近所のパン屋のオーナーのために本格的な酵母関連書が常備されるようになり(彼はスタッフの誕生日プレゼントとして、たびたびその本を買って下さっています)、そのほか猫に関する本の棚もかなり拡大しました。お客様の好みは確実に棚に反映されているのです。売れ筋を揃えたり、顧客の要望に応えるのは書店として当たり前のことですが、大型店のように在庫を持てず、配本ではなく注文で仕入れているうちのよ

うなお店だと、それがより顕著に表れます。

もはや家にいても本が買える時代ですが「買う人」と「売る人」の関係性はその二者の間でしか有り得ません。「ある本屋」で本を買いたいければ、その店の品揃えは自分の好み、足が遠のけ添って行くでしょうに、足が遠のけ添って行くたかもしに好みの棚がなくなっているかもしれません。店側は通ってくるお客様をよく見て、期待に応える努力を怠ってはいけません。そうやって仕事をしていると、お客様と一緒に棚を耕している、という表現がしっくりきます。店側、ひいては著者や出版社の提案と、読者の興味・関心がブレンドされて、今ここにしかない空間を作っているということができます。繰り返しの作業が多い仕事ですが、そんな変化が毎日起こっているのですから全く飽きません。

いつも新鮮な発見がある、居心地の良い空間。行きつけの喫茶店があるように、そんな「MY書店」を見つけられる人が全国で増えますように。

ブックスキューブリック箱崎店
見月香織
本誌表示価格はすべて税抜です。

書評日誌(3・31~4・12)

◎書評 ◎紹介 ◎関連記事

- 3・31 ◎あさひかわ新聞『大雪山一神々の遊ぶ庭を読む』(編者談)
- 3月号 ◎エデュカール『ふってもはれても』(藤枝陽子・庄司みゆき)
- ◎LORCジャーナル地域協働(龍谷大学)『震災復興と地域産業5』編者(松永桂子)寄稿
- 3月 ◎アジア経済『社会自由主義国家』(山崎圭一)
- ◎こどもの図書館『メッセンジャー 緑の森の使者』(矢島えり子)
- ◎平成27年こどもの本一児童図書モデルリスト(鹿児島県立図書館)『読書家の時間』
- 3/上 ◎出版ニュース『「健康」語りと日本社会』

- 2015年度入試 ◎青山学院大学(国語入試問題)『ハムレットの大学』
- 4・1 ◎NHKラジオ深夜便『南国港町おばちゃん信金』(著者出演)
- 4・2 ◎北海道新聞『大雪山一神々の遊ぶ庭を読む』(編者・写真家談)
- 4・3 ◎ライナー(旭川市近隣市町配布フリーペーパー)『大雪山一神々の遊ぶ庭を読む』(大塚友記憲氏談)
- 4・10 ◎週刊金曜日『学生に賃金を』(鈴木裕輔)
- 4・11 ◎図書新聞『学生に賃金を』(著者寄稿)
- 4・12 ◎北海道新聞『大雪山一神々の遊ぶ庭を読む』(中館寛隆)

本を読む

アイコンとしてのチェ・ゲバラ

久しぶりにチェ・ゲバラの本を手に入れて読み、三好徹の「チェ・ゲバラ伝」の広島行きのくだりに胸を打たれてファンになった10代のころを思い出したり、本来ならば広島次の（または、広島空が曇っていたら真つ先に）原爆が落とされていたはずの旧小倉市出身者としての思いを重ね合わせたしながら読みました。

（北九州市 岸まゆみ 50歳）

大雪山 神々の遊ぶ庭を読む

ありきたりの解説本とは大きく異なり、本書の主役は「人」であるところが、斬新な感を受けました。人を介して自然を語るという切り口は大変面白かったです。

（旭川市 教員 角 一典 44歳）

世界遺産マスターが語る 高野山

歴史背景も詳細に記述され、高野山だけに限らず、その当時の日本の中での高野山の位置付けが理

解できた。堂宮大工をしながら執筆された著者の苦労は大変なものだったと思う。

（紀の川市 公務員 山田 均 55歳）

「昔はよかった」と言うけれど

非常に有益だった。最初の文明メソポタミアにも「今どきの青年は……」と嘆く文があるそう。人間には過去を良しとする習癖がある。それには良い面もあるのだが、国家主義的道德教育への逆コースに利用してはいけないと痛切に感じた。

（世田谷区 遠藤 智 78歳）

好評刊

アイコンとしてのチェ・ゲバラ

（英雄のゲリラ像と「オポレーション」）

「昔はよかった」と言うけれど

（戦前のマナー・モラルから考える）

解体新書「捕鯨論争」

アバマンも法人経営の時代です！

（手取り収入から相続、生命保険まで徹底解説）

編集部から

元ジャルケ04の名フオワード、エツペ・サンド。98年に精巣ガンを発症、病と闘いながらその後8年もブレイを続けた。新刊「ガンと向き合う力」は、彼を含め25人のデンマーク人の闘病記録。人間が己の弱さを直視するときの勇気が胸を打つ。シリーズ既刊「高齢者の孤独」「認知症を支える家族力」と併せて御一読を▼環境に配慮するママの愛読誌「日経economy」電子版に、「棄国ノスメ」の著者夫人・増田聡子さんの談話が掲載されています（5/19）▼青山学院大学の今年度の国語受験問題に、岡山茂著「ハムレットの大学」の一編「表象、ジャーナリズム、書物」が課題文として出題されました！新入生歓迎講演録を下敷きにしたこの一編を選んだ問題作成者の慧眼に脱帽です。

営業部から

▼開創1200年記念出版「世界遺産マスターが語る 高野山」著者・尾上恵治さんトークイベント開催！6月21日（日）午後14時より、大阪難波のジュンク堂書店千日前店・ギャラリースペースにて。堂宮大工であり、金剛峯寺案内人でもある尾上さんに、その聖地の魅力をも存分に語っていただきます。特典（※来場者全員に、貴重な高野霊木を使用した焼印入り木札を贈呈）▼「物言はば唇寒し」の世の中にならないために、節目の年に考え直す。「過去」をどこまで「未来」に生かせるか。それが日本の運命を決める。「億総機械海」から新安保法制まで、言葉に織り込まれた政治の虚実を、半世紀にわたる日本の政局を見つめてきた超ベテラン記者が炙り出す！宇治敏彦著「政の言葉から読み解く戦後70年」6月下旬刊です！

SBC（新評論ブッククラブ）のご案内

会員は送料無料！各種特典あり！お申し込みを！

当クラブ（一九九九年発足）は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に（※送料付き）で送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。入会ご希望の方は小社HP「お問い合わせ」からお送りいただくか、メールまたはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。